

多面的機能の維持・発揮活動

【コミュニティ部門】

しづみかんきょうほぜんくみあい
渋見環境保全組合(津市)

地区の宝 幼稚園児と農業を体験しよう

活動の状況 (認定農用地面積A=23.57ha)

平成26年に多面的機能支払交付金の施行に伴い、渋見農家組合を中心にこの渋見環境保全組合を設立しました。渋見地域でも近年の農業者や地権者の高齢化により遊休農地の発生は今後の大きな課題です。そこで渋見環境保全組合が掲げるテーマのひとつとして、「遊休農地の発生抑止」を掲げ、地域の遊休農地を活用し、次代を担う子供たちと、地区の老人との接点を模索したとき、自治会の保有する農地で、地域の保育園、幼稚園とで農業体験を実施する運びとなりました。最初はじゃがいも、ナス、きゅうり、落花生などを作付しましたが、カラスの被害に遭い思ったように収穫ができませんでした。近年は被害の少なかったじゃがいも、さつまいも、また景観作物のコスモスを作付し、園児と地域老人(サロン渋見)の憩いの活動を行っています。また、収穫したさつまいもは、園児と保護者、サロン渋見のメンバーで焼き芋をして農業の良さを実感したいと思います。もうひとつの活動としては、休耕田を活用し園児に「泥んこ遊び」を通じて、自然の良さを身体で感じて楽しんでもらおうと取組を行っています。園児たちは田んぼの中で追いかっこ、綱引きなどドロドロになりながらも元気に笑顔で遊ぶ姿をみると、活動してきた意義を感じます。

取組のようす

